

No.118
北本市

議会だより

令和3年(2021年)11月1日発行
編集/議会広報広聴委員会
発行/北本市議会(北本市本町1-111)

Tel 048-591-1111 Fax 048-591-6335
URL <https://www.city.kitamoto.lg.jp/shigikai/>



飛沫拡散防止パネルを
設置した議場の様子

CONTENTS

- 2 9月定例会
- 4 提出案件の結果等

令和3年第3回定例会の会期日程について

令和3年第3回定例会の開催を前に、新型コロナウイルス感染症は第5波に入り、ピークが見通せず、本市においてもこれまで経験したことのない爆発的感染拡大、まさに災害レベルの危機的状況にありました。

ワクチン接種は進んでいましたが、すべての世代に行き渡るまでには時間が必要な状況で、市民の命を守るためには、まずは政府が要請している人流の抑制、人と人の接触機会を50%減らすことに努めることが重要であると考えました。

そこで本市議会では、議員、職員及び市民の人流と接触機会を減らすことを目的に、通常の会期日程を変更し、以下のとおり緊急避難的措置を講じました。

1. 市長提出議案(決算除く)及び市民から提出された請願は、委員会付託せず本会議において審議する
2. 市政に対する一般質問は取りやめる
3. 令和2年度決算議案は総括質疑を行い、予算決算常任委員会に付託後、閉会中の継続審査とし、分科会審査の上、令和3年第4回定例会で議決する
4. 市のコロナ対策や緊急性のある課題については、緊急質問として対応する
5. 会期を短縮せず、9月6日～27日を休会とすることにより、全議員を9月28日まで議会に拘束し、緊急的な議案の審議等が必要になった場合に、即時に本会議が開ける体制を維持する

今後も、コロナ禍の中でも、住民の福祉の向上と市政進展のため職務に精励し、皆様に寄り添い、皆様と一緒にこの苦難を乗り越えるため、最善の努力を致します。

令和3年第4回北本市議会定例会は、**11月30日(火)** 開会の予定です。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響があった場合は、議会の傍聴を御遠慮いただくことがあります。

9月定例会

令和2年度一般会計・特別会計

歳入歳出決算を継続審査に

8月26日から9月28日までの34日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案17件、議員提出議案3件、委員会提出議案1件、請願1件を慎重に審議しました。

なお、令和2年度決算議案については、予算決算常任委員会に付託後、閉会中の継続審査としました。分科会審査の上、12月定例会で議決します。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

「議案第43号」令和2年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について

総括質疑通告者

- 大嶋 達巳(みらい)
- 滝瀬 光一(啓和会)
- 村田 裕子(緑風会)
- 中村 洋子(日本共産党)
- 桜井 卓(市民の力)
- 岸 昭二(公明党)

※通告順に掲載

Q 令和2年度決算における各指標分析について

A 令和2年度決算カードにおける財政指標のうち、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率、義務的経費比率の4つの指標についてお答えします。

令和2年度の経常収支比率は91・2%で、令和元年度から0・3ポイントの増となりました。増となった要因は、ふるさと納税に係る業務支援委託料や学童保育室指定管理料等の物件費の増、また臨時財政対策債の償還金の公債費分の増

等の影響により比率が上昇したものです。

実質公債費比率は7・4%で、前年より0・1ポイントの増となりました。増となった要因は、平成29年度、平成30年度に借り入れた臨時財政対策債の償還を開始したことなどにより、元利償還金の額が9,983万2,000円増加したことによるものです。

また、将来負担比率は18・9%となり、令和元年度から8・2ポイントの減となりました。減となった要因は、市債発行を抑制しつつ

着実に償還をしていることから、市債残高が前年度より8億1,700万8,000円減少したことや、将来の施設整備等に備え、各基金に積立てを行ったことによるものです。

義務的経費比率は、歳出総額に占める義務的経費の割合を示すもので、義務的経費は人件費、扶助費、公債費の合計です。令和2年度の義務的経費比率は39・0%となり、前年度より12・8ポイントの減となりました。減となった要因は、人件費が8,298万1,000円、扶助費が1億9,529万2,000円それぞれ増加した一方で、分母となる歳出総額が定額給付金給付事業等の影響で76億5,473万円と大幅に増加したために比率が下がったものです。

Q 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市税等歳入への影響額について

A 令和2年度の市税の収入済額は、全体で88億4,436万108円となって

おり、前年度と比べ8,206万4,087円の減となりました。

主なものとしては、市民税が41億7,797万9,187円で、前年度と比べ5,305万6,236円の減、固定資産税が37億5,047万8,013円で、前年度と比べ3,569万6,725円の減となったところと減の要因といえます。減の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予を行ったことが一因と考えています。

国庫支出金への影響は、令和2年度の収入済額が106億1,878万2,147円で、前年度と比べ76億755万9,580円と大幅な増となりました。増の要因は、国民1人当たり10万円を給付した特別定額給付金事業の補助金や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付されたことにより、国庫補助金が78億8,838万9,497円と、前年度に比べて75億1,926万3,

047円の大幅な増となったことによるものです。

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策費や支援費等の決算状況について

A 令和2年度の新型コロナウイルス対策等に関する関連経費は、決算ベースで73事業、76億5,862万9,000円となりました。

主な事業は、特別定額給付金事業66億6,785万9,000円、子育て世帯への臨時特別給付金事業7,011万5,000円、ひとり親世帯への臨時特別給付金事業6,874万4,000円、新型コロナウイルスの地方創生臨時交付金を活用した学校ICT環境整備事業3億6,593万8,000円、そのほか市内の消費活動の活性化を図るプレミアム付商品券事業3,621万2,000円等が上げられます。なお、新型コロナウイルスの地方創生臨時交付金は58事業、6億2,993万4,000円を充当したところです。

緊急質問を実施

9月3日に6人の議員から新型コロナウイルス感染症などに関する緊急質問がなされたので、その主なものを掲載します。

緊急質問議員 ※質問順

- 保角 美代 (公明党)
- 湯沢 美恵 (日本共産党)
- 松島 修一 (啓和会)
- 桜井 卓 (市民の力)
- 日高 英城 (みらい)
- 金森すみ子 (緑風会)

総合的な対応などについて

Q 本市における感染者数の推移について

A 令和2年4月に、初めての陽性者が確認されてから、令和2年度に178人、令和3年4月から7月末までに118人の陽性者が報告されました。

その後、全国的な感染拡大と同様に、本市でも8月の1か月間で276人と、急増している状況です。

Q 自宅療養者及び自宅待

機者への支援について

A 本市では、自宅療養者及び濃厚接触者として自宅待機している方に対し、食料品の配付やパルスオキシメーターの貸出業務を行うこととしました。従来は、埼玉県の業務として行われていたものですが、保健所業務の逼迫により、配送が遅れているとの情報があったため、急遽、予備費を充用して対応しました。

食料品の配付については、8月30日から受付を開始し、9月2日現在、8件の申込みがありました。



配付される食料品のイメージ

パルスオキシメーターは、製品の入荷を受け、9月3日より受付を開始します。

ワクチン接種について

Q 予約の状況と高齢者の接種率について

A 8月31日には、12歳以上34歳以下の市民へ、予約開始のはがきを送付したため、現在は接種を希望する全ての接種対象となる市民の方が予約することができません。

8月30日時点の高齢者の接種率については、1回目接種が92・81%、2回目接種が91・06%で、全国における接種率、1回目が89・47%、2回目が87・21%で、それぞれ比べると、1回目、2回目とも、本市の接種率が全国を上回っています。

Q エssenシャルワーカーへの接種について

A 7月9日に、介護施設や障害者施設従事者、在宅介護従事者、ごみ収集運搬従事者、保育士、学童保育支援員等を対象として、206人に接種クーポンを発

送し、優先的に接種予約ができる体制を整えました。

小・中学校での対応について

Q 緊急事態宣言下におけるオンライン授業に向けた取組について

A 短縮授業とした9月1日から9月10日までの期間に、各学校では今後のオンライン授業の実施を見据え、教員研修を行うなどの準備を進めています。



保育所等での対応について

Q 保育施設を利用しなかった場合の返金について

A 今後、施設利用児童の感染が拡大するようであれば、状況に応じて必要期間を定め、登園自粛要請を行い、保育料の日割計算についても行っていききたいと考えます。

提出案件の結果一覧（9月定例会）

議案名	議決結果	啓和会				みらい				公明党		緑風会		市民の力		日本共産党					
		岡村 有正	松島 修一	渡邊 良太	滝瀬 光一	加藤 勝明	黒澤 健一	日高 英城	高橋 伸治	諏訪善一良	大嶋 達巳	保角 美代	島野 和夫	岸 昭二	村田 裕子	金森すみ子	今関 公美	桜井 卓	工藤日出夫	湯沢 美恵	中村 洋子
令和2年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について		継続審査																			
令和2年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について																					
令和2年度北本市都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について																					
令和2年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について																					
令和2年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について																					
令和2年度北本市公共下水道事業会計決算の認定について																					
北本市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北本市こども医療費の支給に関する条例及び北本市重度心身障害者医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度北本市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
令和3年度北本市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度北本市都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度北本市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度北本市一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
請願 都市計画道路「中仙道」の北部地域整備促進に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米価暴落に対する緊急対策を求める意見書	可決	退	○	退	退	退	退	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
都市計画道路「仲仙道」の北本市北部地域の整備促進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案 生徒指導提要の改訂に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄になっています。※表の見方 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥



第30回議会報告会を開催しました。

去る7月17日(土)に北本市役所において、第30回議会報告会を開催し、市民の皆さんの御参加をいただきました。

子どもの権利に関する特別委員会について

6月24日(木)、7月7日(水)、7月29日(木)、8月10日(火)、8月12日(木)、9月17日(金)に委員会を開催し、引き続き、閉会中の継続審査とすることになりました。



中間報告書

紹介

今定例会において同意しました。

教育委員会教育長

住所 北本市中央3丁目2番地
満寿美マンション205

氏名 **神子 修一氏**
かみこ しゅういち

議会広報広聴委員

委員長	岡村 有正
副委員長	金村 美恵
委員	湯井 卓
委員	桜井 美恵
委員	高松 美恵
委員	島野 伸治

編集後記

9月の定例会はコロナ第5波が猛威を振るう中での開催となり、議長の開会発言（表紙面に記載）の通り、人流を抑えながらの変則的な形で行われました。市政運営の適切さなどを問う「一般質問」は取り止めになりましたが、議会は「緊急質問」の方式で、早急に必要な市民への支援対応を市に求めました。不十分な定例会にならぬよう、通常とは異なる緊張感を持ち過こしてまいりました。このような議会の実状ですが、市民の皆様には中々伝わっておらず、通常通り開催していると思われていた方が多いようです。改めて市民の皆様との繋がりが足りていないと実感しています。市民が議会へ関心を高めていただけるよう、更に努めてまいります。

(金)